

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、流動資産に計上されている現金預金のみを含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科目	前期末残高	当期末残高
現金	324,614	360,028
普通預金		
横浜銀行鎌倉支店	24,066	23,638
みずほ銀行鎌倉支店	3,855,734	3,231,320
郵便振替口座	29,740	0
次期繰越収支差額	4,234,154	3,614,986

3 予算額と決算額の差異が著しい科目については、その科目及びその理由

科目：流鏑馬収入

理由：予算作成時より1行事追加されたことによる差異

科目：備品費

理由：予算作成時には馬1頭の購入を予定していましたがその他馬具も損傷が激しく
行事等に支障を来すと判断して購入したことによる差異

科目：研究費

理由：当年度ではまだ準備が整わなかったことによる差異

4 科目間の流用及び予備費の使用があった場合には、当該科目及び金額

特段無し

5 その他公益法人の収支の状況を明らかにするために必要な事項

特段無し